

# 労働力調査（基本集計）平成30年（2018年）平均（速報）結果の要約

1. 2018年平均の完全失業率は2.4%と、前年に比べ0.4ポイント低下（8年連続の低下）  
完全失業者は166万人と24万人減少（9年連続の減少）

・完全失業率について、男性は2.6%と0.4ポイントの低下、女性は2.2%と0.5ポイントの低下  
（→「本文」13, 14ページ）

2. 2018年平均の就業者は6664万人<sup>※1</sup>と、前年に比べ134万人増加（6年連続の増加）

・就業者について、男性は3717万人と45万人の増加、女性は2946万人<sup>※2</sup>と87万人の増加  
・15～64歳の就業者は5802万人と78万人の増加、65歳以上の就業者は862万人と55万人の増加

※1 比較可能な1953年以降で過去最多（1997年（6557万人）以来、21年ぶりに過去最多更新）

※2 〃（6年連続で過去最多更新）

（→「本文」5ページ）

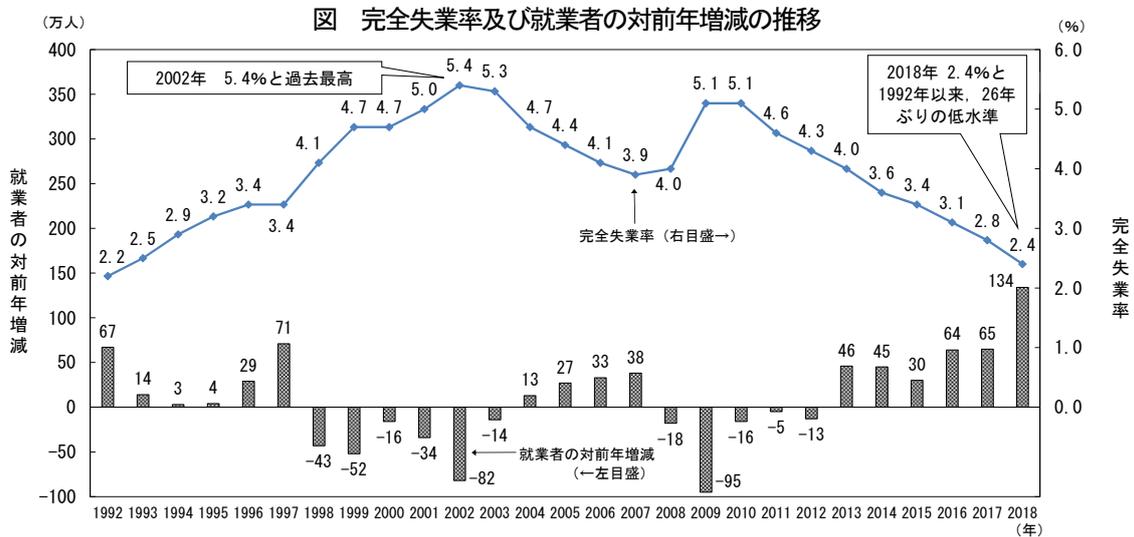


表1 年齢階級別就業者の推移

(万人)

		男女計							男			女			
		総数	15～64歳	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	総数	15～64歳	65歳以上	総数	15～64歳	65歳以上
実数	2008年	6409	5856	546	1321	1439	1294	1255	553	3745	3398	347	2664	2457	207
	2009	6314	5750	513	1277	1453	1280	1227	565	3666	3315	351	2649	2434	214
	2010	6298	5728	492	1247	1472	1291	1227	570	3643	3293	350	2656	2434	221
	2011	6293	5722	481	1217	1503	1286	1235	571	3639	3289	349	2654	2433	222
	2012	6280	5684	472	1192	1514	1301	1205	596	3622	3258	365	2658	2426	231
	2013	6326	5690	483	1173	1522	1336	1177	637	3620	3231	390	2707	2459	247
	2014	6371	5689	486	1158	1523	1365	1158	682	3635	3220	416	2737	2469	267
	2015	6401	5670	488	1136	1509	1400	1137	732	3639	3196	443	2764	2474	288
	2016	6465	5695	512	1130	1482	1445	1126	770	3655	3193	462	2810	2502	308
	2017	6530	5724	519	1124	1458	1489	1134	807	3672	3188	483	2859	2535	324
2018	6664	5802	562	1120	1436	1535	1148	862	3717	3206	512	2946	2596	350	
対前年増減	2008年	-18	-33	-14	-38	32	-16	1	14	-18	-27	9	-1	-6	6
	2009	-95	-106	-33	-44	14	-14	-28	12	-79	-83	4	-15	-23	7
	2010	-16	-22	-21	-30	19	11	0	5	-23	-22	-1	7	0	7
	2011	-5	-6	-11	-30	31	-5	8	1	-4	-4	-1	-2	-1	1
	2012	-13	-38	-9	-25	11	15	-30	25	-17	-31	16	4	-7	9
	2013	46	6	11	-19	8	35	-28	41	-2	-27	25	49	33	16
	2014	45	-1	3	-15	1	29	-19	45	15	-11	26	30	10	20
	2015	30	-19	2	-22	-14	35	-21	50	4	-24	27	27	5	21
	2016	64	25	24	-6	-27	45	-11	38	16	-3	19	46	28	20
	2017	65	29	7	-6	-24	44	8	37	17	-5	21	49	33	16
2018	134	78	43	-4	-22	46	14	55	45	18	29	87	61	26	

### 3. 2018年平均の就業率は60.0%と、前年に比べ1.2ポイント上昇（6年連続の上昇）

- ・男性は69.3%と0.9ポイントの上昇，女性は51.3%と1.5ポイントの上昇
- ・うち15～64歳は76.8%<sup>※1</sup>と1.5ポイントの上昇。男性は83.9%と1.0ポイントの上昇，女性は69.6%<sup>※2</sup>と2.2ポイントの上昇
- ・なお，65歳以上は24.3%と1.3ポイントの上昇。男性は33.2%と1.4ポイントの上昇，女性は17.4%と1.1ポイントの上昇

※1 比較可能な1968年以降で過去最高（6年連続で過去最高更新）

※2 “ ” （9年 “ ” ）

（→「本文」6ページ）

表2 年齢階級別就業率の推移

（%，ポイント）

		男女計			男			女		
		総数	15～64歳	65歳以上	総数	15～64歳	65歳以上	総数	15～64歳	65歳以上
実数	2008年	57.8	70.8	19.7	69.8	81.6	29.0	46.5	59.8	12.9
	2009	56.9	70.0	19.6	68.2	80.2	28.4	46.2	59.8	13.0
	2010	56.6	70.1	19.4	67.7	80.0	27.8	46.3	60.1	13.1
	2011	56.5	70.2	19.2	67.6	80.1	27.5	46.2	60.2	13.0
	2012	56.5	70.6	19.5	67.5	80.3	27.9	46.2	60.7	13.2
	2013	56.9	71.7	20.1	67.5	80.8	28.6	47.1	62.4	13.7
	2014	57.3	72.7	20.8	67.7	81.5	29.3	47.6	63.6	14.3
	2015	57.6	73.3	21.7	67.8	81.8	30.3	48.0	64.6	15.0
	2016	58.1	74.3	22.3	68.1	82.5	30.9	48.9	66.0	15.8
	2017	58.8	75.3	23.0	68.4	82.9	31.8	49.8	67.4	16.3
2018	60.0	76.8	24.3	69.3	83.9	33.2	51.3	69.6	17.4	
対前年増減	2008年	-0.3	0.1	0.0	-0.5	-0.1	-0.1	-0.1	0.3	0.1
	2009	-0.9	-0.8	-0.1	-1.6	-1.4	-0.6	-0.3	0.0	0.1
	2010	-0.3	0.1	-0.2	-0.5	-0.2	-0.6	0.1	0.3	0.1
	2011	-0.1	0.1	-0.2	-0.1	0.1	-0.3	-0.1	0.1	-0.1
	2012	0.0	0.4	0.3	-0.1	0.2	0.4	0.0	0.5	0.2
	2013	0.4	1.1	0.6	0.0	0.5	0.7	0.9	1.7	0.5
	2014	0.4	1.0	0.7	0.2	0.7	0.7	0.5	1.2	0.6
	2015	0.3	0.6	0.9	0.1	0.3	1.0	0.4	1.0	0.7
	2016	0.5	1.0	0.6	0.3	0.7	0.6	0.9	1.4	0.8
	2017	0.7	1.0	0.7	0.3	0.4	0.9	0.9	1.4	0.5
2018	1.2	1.5	1.3	0.9	1.0	1.4	1.5	2.2	1.1	

### 4. 2018年平均の正規の職員・従業員は3485万人と、前年に比べ53万人増加（4年連続の増加）。非正規の職員・従業員は2120万人と84万人増加（5年連続<sup>※</sup>の増加）

- ・正規の職員・従業員を男女別にみると，男性は2347万人と29万人の増加，女性は1138万人と24万人の増加。年齢階級別にみると，15～64歳は3374万人と51万人の増加，65歳以上は111万人と2万人の増加
- ・非正規の職員・従業員を男女別にみると，男性は669万人と22万人の増加，女性は1451万人と62万人の増加。年齢階級別にみると，15～64歳は1762万人と42万人の増加，65歳以上は358万人と42万人の増加
- ・役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は37.8%と0.6ポイントの上昇

※ 前年と比較可能な2014年以降

（→「本文」9ページ）

### 5. 2018年平均の非労働力人口は4263万人と，前年に比べ119万人減少（6年連続の減少）

- ・うち65歳以上は10万人減少

（→「本文」4ページ）

#### － 留意事項 －

2011年平均（全国及び東北）は，東日本大震災の影響により，関連統計等を用いて補完推計を行った。

また，2017年の結果から算出の基礎となるベンチマーク人口を，2010年国勢調査結果を基準とする推計人口（旧基準）から2015年国勢調査結果を基準とする推計人口（新基準）に切り替えた<sup>※</sup>。これに伴い，2010年から2016年までの数値については，東日本大震災による補完推計の値も含め，比率を除き，新基準のベンチマーク人口に基づいて遡及又は補正した時系列接続用数値を別途算出した。本冊子には，この時系列接続用数値を掲載するとともに，同数値により前年比較を行っている。

※ この切替えによる変動（ギャップ）は，全国の15歳以上人口（2015年9月結果）で+35万人（新基準－旧基準）となっている。